

日赤番号	識別番号	FAX受付日	報告受領日	一般名	患者性別	年齢	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	日赤投与前検査	日赤投与後検査	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	供血者再献血※	同一供血者製剤確保※	同一供血者製剤使用※	感染症等転帰	転帰	供血者発症及 の場合の の供血者 者保管 検体(抗 原、抗 体、 NAT)	供血者発症 及の場合の の供血者 の検査
3-0900074	A-09000748	2009/10/04	2009/10/20	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	女	80	消化器疾患	B型肝炎	09/01		HBsAg(+) (09/09) HBV-DNA(+) HBcAb(+) (09/09)		HEV-DNA(+) HBsAg(+) HBcAb(+) (09/10)	陽性(輸血後)	保管検体5本についてHEV-DNA(-)		5単位	1/5(HEV抗体およびHEV抗原性で、当該献血時においてであった。)	5本の原料血漿を製造。	原料血漿はすべて使用済み。	非重篤	未回復			
3-0900092		2009/11/20		新鮮凍結人血漿-LR 人赤血球濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液-LR 人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	男	70	腎臓疾患	B型肝炎	09/02		HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) (09/02) HBsAg(-) (09/08) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(-) HBcAb(+) IgM-HBcAb(+) (09/11)	調査中	調査中	HBV関連検査実施予定	保管検体45本についてHEV-NAT実施予定		38単位 50単位 13単位 26単位	22/45(21人はHBV関連検査陰性。1人はHBs抗体のみ陽性であり、当該献血時においてであった。)	20本の原料血漿、3本の新鮮凍結血漿-LR、22本の赤血球濃厚液-LRを製造。原料血漿は、2本使用済みで、18本使用済み。	新鮮凍結血漿-LRはすべて医療機関へ供給済み。	重篤	死亡			

23

日赤番号	識別番号	FAX受付日	報告受領日	一般名	患者性別	年齢	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	日赤投与前検査	日赤投与後検査	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	供血者再献血※	同一供血者製剤確保※	同一供血者製剤使用※	感染症等転帰	転帰	供血者発症及 の場合の の供血者 者保管 検体(抗 原、抗 体、 NAT)	供血者発症 及の場合の の供血者 の検査	
輸血によるHCV感染報告例(疑い例を含む。)																										
供血者陽性事例																										
(該当なし)																										
転帰事例																										
3-0900039	A-09000375	2009/5/25	2009/8/9	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR 人赤血球濃厚液-LR	男	60	消化器疾患 血液疾患	C型肝炎	06/06 08/06	HCV-RNA(+) HCVコアAg(+) (08/05)		HCV-RNA(-) (08/06) HCV-RNA(+) (09/05)	陽性(輸血後)	保管検体2本全部HCV-RNA(-)	人血清アルブミン		12単位 2単位	5/7(HCV関連検査陰性)	5本の原料血漿、2本の新鮮凍結血漿-LRを製造。	原料血漿は全て使用済み。新鮮凍結血漿-LRは全て医療機関へ供給済み。	重篤	未回復				
3-0900041	A-0900039	2009/8/8	2009/8/2	人赤血球濃厚液-LR	男	80	外傷 整形外科的疾患	C型肝炎	09/01	HCV-RNA(-) (09/01) HCVコアAg(-) (09/01)		HCV-RNA(-) (09/01)	HCV-RNA(+) HCVコアAg(+) (09/05)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	保管検体1本についてHCV-RNA(-)		2単位	0/1	1本の原料血漿を製造。原料血漿は確保済み。		重篤	未回復				
3-0900042	A-0900040	2009/8/8	2009/8/2	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	女	70	生殖器腫瘍	C型肝炎	09/02	HCVコアAg(-) (09/02)		HCV-RNA(+) HCVコアAg(+) (09/05) HCVコアAg(+) (09/05)	陽性(輸血後)	保管検体2本全部HCV-RNA(-)		4単位	0/2	2本の原料血漿を製造。原料血漿は全て確保済み。		非重篤	未回復					
3-0900049	A-0900049	2009/8/2	2009/7/9	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	女	70	脳疾患	C型肝炎	08/01	HCV-RNA(-) (08/02) HCVコアAg(+) (09/02)		HCV-RNA(-) (08/01)	HCV-RNA(+) HCVコアAg(+) (09/07)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	保管検体2本全部HCV-RNA(-)		4単位	1/20(HCV関連検査陰性)	1本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿-LRを製造。	原料血漿は使用済み。新鮮凍結血漿-LRは医療機関へ供給済み。	重篤	軽快				

日赤番号	種別番号	FAX受付日	報告受領日	一般名	患者性別	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	日赤投与前検査	日赤投与後検査	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	供血者再献血※	同一供血者製剤確保※	同一供血者製剤使用※	感染症等転帰	転帰	供血者免歴及の供血者保存検体(抗体、NAT)	供血者免歴及の供血者保存検体(抗体、NAT)
3-09000534	A-090000534	2009/7/11	2009/7/27	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	男	臓器移植後、泌尿器系疾患	C型肝炎	07/06	HCV-Ab(-) (07/05)	HCV-Ab(+) (09/02) HCV-RNA(+) genotype 2b (09/04) HCV-Ab(+) (09/05)				保管検体3本全部 HCV-RNA(-)		4単位	1/20HCV 関連検査 陰性)	2本の原料血漿を製造。 原料血漿は使用済み。		重篤	未回復			
3-0900076	A-09000076	2009/10/20	2009/10/30	新鮮凍結人血漿-LR 人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	女	脳腫瘍	C型肝炎	09/09	HCV-Ab(-) (09/09)	HCV-RNA(+) HCV-Ab(+) (09/10)	HCV-RNA(-) (09/09)	HCV-RNA(+) HCV-Ab(+) (09/10)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	保管検体12本全部 HCV-RNA(-)	人血清アルブミン ソルビール	8単位 18単位	2/120HCV V関連検査 陰性)	2本の原料血漿、6本の新鮮凍結血漿-LR、4本の赤血球濃厚液-LRを製造。原料血漿は、全て確保済み。新鮮凍結血漿-LRは全て確保済み。	6本の新鮮凍結血漿-LR、4本の赤血球濃厚液-LRは全て医療機関へ供給済み。	重篤	未回復			
3-0900077	A-09000077	2009/10/20	2009/10/30	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	女	外傷、整形外科的疾患	C型肝炎	09/08	HCV-Ab(-) (09/08)	HCV-Ab(+) (09/10) HCV-RNA(+) HCV genotype 1b (09/10)		HCV-RNA(+) HCV-Ab(+) (09/10)	陽性(輸血後)	保管検体3本全部 HCV-RNA(-)		6単位	0/3	3本の原料血漿を製造。原料血漿は、すべて確保済み。		重篤	軽快			
3-0900086	A-09000086	2009/11/20	2009/11/20	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	女	その他の疾患	C型肝炎	09/03	HCV-Ab(-) (09/01) HCVコアAg(-)	HCVコアAg(-) (09/03) HCVコアAg(+) (09/10) HCV-Ab(+) (09/10) HCV-RNA(+) genotype 1b (09/10)	HCV-RNA(-) (09/03)	HCV-RNA(+) HCV-Ab(+) (09/11)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	保管検体3本全部について HCV-RNA(-)		4単位	0/3	2本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿-LRを製造。原料血漿は、1本確保済み。	新鮮凍結血漿-LRは全て医療機関へ供給済みで未使用であり回収済み。原料血漿は、1本使用済み。	重篤	軽快			

日赤番号	種別番号	FAX受付日	報告受領日	一般名	患者性別	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	日赤投与前検査	日赤投与後検査	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	供血者再献血※	同一供血者製剤確保※	同一供血者製剤使用※	感染症等転帰	転帰	供血者免歴及の供血者保存検体(抗体、NAT)	供血者免歴及の供血者保存検体(抗体、NAT)
輸血後NATで陰性又は輸血前後で陽性																								
3-0900081	A-09000081	2009/08/28	2009/08/28	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR 人赤血球濃厚液-LR	女	消化器腫瘍	C型肝炎	09/09	HCV-Ab(-) (09/08) HCV-Ab(+) (09/09) HCVコアAg(-) (09/09)	HCVコアAg(-) (09/10)	HCV-RNA(-) (09/09)	HCV-RNA(-) (09/10)	陰性(輸血前) 陰性(輸血後)	保管検体3本について HCV-RNA(-)		4単位 2単位	0/3	3本の原料血漿を製造。原料血漿はすべて確保済み。		非重篤	不明			
3-0900085	A-09000085	2009/11/12	2009/11/12	人血小板濃厚液(放射線照射)-LR 人赤血球濃厚液-LR	男	血液疾患	C型肝炎	09/08	HCV-Ab(-) (08/12)	HCV-Ab(+) (09/10) HCV-Ab(+) (09/10) HCV-RNA(+) (09/10)	HCV-RNA(+) (09/02)	HCV-RNA(+) (09/04)	陽性(輸血前) 陽性(輸血後)	保管検体5本全部 HCV-RNA(-)		50単位	3/50HCV 関連検査 陰性)	5本の原料血漿を製造。原料血漿は1本確保済み。	原料血漿は4本使用済み。	非重篤	未回復			
3-0900087		2009/11/11		人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	女	臓器移植後	C型肝炎	09/06	HCVコアAg(-) (09/04) HCV-Ab(-) (09/04)	HCVコアAg(+) (09/10) HCV-Ab(-) (09/10)	HCV-RNA(-) (09/04)	HCV-RNA(-) HCV-Ab(-) (09/10)	陰性(輸血前) 陰性(輸血後)	保管検体3本について HCV-RNA(-)		6単位	0/3	1本の原料血漿、2本の新鮮凍結血漿-LRを製造。原料血漿は、全て確保済み。	2本の新鮮凍結血漿-LRは全て医療機関へ供給済み。	非重篤	軽快			
輸血未確認事例																								
3-0900090		2009/11/19		人血小板濃厚液(放射線照射)-LR 人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	女	血液腫瘍	C型肝炎	09/07	HCV-Ab(-) (08/12) HCVコアAg(+) (09/03)	HCVコアAg(+) (09/11)	調査中	調査中	HCV関連検査実施予定	保管検体22本について HCV-NAT実施予定		120単位 20単位	12/220HCV V関連検査 陰性)	20本の原料血漿、2本の新鮮凍結血漿-LRを製造。原料血漿は、使用の有無を調査中。新鮮凍結血漿-LRはすべて確保済み。	調査中	重篤	調査中			
3-0900091		2009/11/20		新鮮凍結人血漿-LR 人血小板濃厚液(放射線照射)-LR 人赤血球濃厚液-LR	男	臓器移植後	C型肝炎	09/04	HCV-Ab(-) (09/02)	HCVコアAg(+) (09/08) HCV-RNA(+) genotype 1b (09/10)	調査中	調査中	HCV関連検査実施予定	保管検体17本について HCV-NAT実施予定		18単位 20単位 16単位	9/170HCV V関連検査 陰性)	9本の原料血漿、8本の赤血球濃厚液-LRを製造。原料血漿は、すべて確保済み。	赤血球濃厚液-LRは全て医療機関へ供給済み。	重篤	未回復			

日赤番号	識別番号	FAX受付日	報告受領日	一般名	患者性別	原疾患	感染症名	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	日赤投与前検査	日赤投与後検査	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	献血者再献血※	同一献血者製剤確保※	同一献血者製剤使用※	感染症等転帰	転帰	献血者発症及の場合の供血者抗体(NAT)	献血者発症及の場合の供血者の検査値
輸血によるHIV感染報告例(疑い例を含む。)																							
(該当例なし)																							
輸血による細菌等感染報告例(疑い例を含む。)																							
3-09000306	A-090000340	2009/5/2	2009/6/2	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	女	脳疾患	細菌感染	09/04	輸血終了翌日、敗血症性ショック発現。発熱、血圧変動16日後、患者数血症、多臓器不全、DICにて死亡。院内にて実施の患者血液培養より <i>Serratia marcescens</i> 同定。	当該製剤のセグメントチューブ(3本)にて <i>Serratia marcescens</i> に対する細菌培養試験を実施。陰性。当該製剤3本の内1本でエンドキシン温度 2.0pg/mL(基準値 1.0pg/mL)					被疑薬: 採血8, 9日目の原料赤血球濃厚液-LR(3本) 医療機関にてCVカテーテルより <i>Serratia marcescens</i> 同定(09/05) 調査結果を受けて担当医師より副作用・感染症と輸血用血液との因果関係なしと考えるとのコメントが得られた。	6単位		1本の原料血漿、2本の新鮮凍結血漿-LRを製造。原料血漿は確保済み。新鮮凍結血漿-LRは全て確保済み。		重篤	死亡	患者は09年5月7日、敗血症、多臓器不全、DICにて死亡。科検なし。死亡と本剤の因果関係なし(担当医師の意見)。	
3-09000406	A-090000455	2009/6/1	2009/6/8	人赤血小板濃厚液HLA(放射線照射)	女	血液疾患	細菌感染	09/06	36.7℃→37.5℃→38℃ 翌日一旦体温が低下(35.8℃)したが夕方38℃ 患者の血液培養によりグラム陽性球菌を検出し、その後 MRSAと同定。	同一採血番号の血漿(1本)による細菌培養試験を実施、適合。 非溶血性副作用関連検査実施。抗血漿タンパク質抗体検査: 陰性 血漿タンパク質欠損検査: 欠損なし。						20単位		1本の原料血漿を製造。原料血漿は確保済み。		重篤	未回復		

日赤番号	識別番号	FAX受付日	報告受領日	一般名	患者性別	原疾患	感染症名	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	日赤投与前検査	日赤投与後検査	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	献血者再献血※	同一献血者製剤確保※	同一献血者製剤使用※	感染症等転帰	転帰	献血者発症及の場合の供血者抗体(NAT)	献血者発症及の場合の供血者の検査値
3-09000608	A-090000578	2009/8/6	2009/8/17	人赤血小板濃厚液(放射線照射)	男	血液腫瘍	細菌感染	09/08	BT37.2℃→39℃ PR 85/min→107/min 院内にて患者血液培養は陰性	投与中止の当該製剤1本で細菌培養試験を実施。陰性。 非溶血性副作用関連検査実施。抗血漿タンパク質抗体検査: 陰性 血漿タンパク質欠損検査: 欠損なし					10単位		1本の原料血漿を製造。原料血漿は確保済み。		非重篤	回復			
3-09000603	A-090000513	2009/7/1	2009/7/18	人赤血小板濃厚液(放射線照射)	男	血液腫瘍	細菌感染	09/07	輸血終了30分後に39.6℃の発熱、咽頭痛あり。 患者血液培養からレンサ球菌(+)検出。その後 <i>Streptococcus orisii</i> と同定。	同一採血番号の血漿(1本)による細菌培養試験を実施、適合。 非溶血性副作用関連検査実施。抗血漿タンパク質抗体検査: 陰性 血漿タンパク質欠損検査: 欠損なし 抗HLA抗体検査: クラスII抗体陽性 クラスIII抗体陽性					被疑薬: 採血2日目の原料濃厚血小板(1本)	10単位		1本の原料血漿を製造。原料血漿は確保済み。		重篤	軽快		

日赤番号	種別番号	FAX受付日	報告受付日	一般名	患者性別	年齢	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	日赤投与前検査	日赤投与後検査	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	献血者再献血※	同一献血者製剤確保※	同一献血者製剤使用※	感染症等転帰	転帰	献血者発症及の献血者の検査値	献血者発症及の献血者の検査値	
3-0900055	A-0900054	2009/7/2	2009/8/7	人血血小板濃厚液(放射線照射)	男	60	血液腫瘍	細菌感染	09/07			投与中止の高熱製剤1本で細菌培養試験を実施。Serratia marcescensを同定。投与中止の当該製剤にてエンドキシン787.2 mg/mL (セグメントチューブ)は10pg/mL以下。保管検体にてSerratia marcescensに対する細菌培養試験を実施。陰性。同一献血番号の血液(1本)による細菌培養試験を実施。適合。非溶血性副作用関連検査実施。抗血液タンパク質抗体検査:陰性。血液タンパク質交換検査:欠損なし。						患者血液培養により検出された菌株を医療機関より入手し、細菌同定試験を実施したところSerratia marcescensが同定された。患者および当該製剤より同定された二つの菌株についてパルスフィールド電気泳動を行い、その遺伝子解析(クローニング)により二者が同一の菌株であることを確認した。	10単位		1本の原料血液を製造。原料血液は全て確保済み。		重篤	軽快		
3-0900055	A-0900055	2009/9/8	2009/9/8	人血血小板濃厚液(放射線照射)	男	1	血液疾患	サイトメガロウイルス感染	09/07			IgM-CMV-Ab(+) IgG-CMV-Ab(+) (09/08)	調査なし			保管検体2本全部 IgM-CMV-Ab(-) IgG-CMV-Ab(+)	乾燥スル化人免疫グロブリン	投与は10単位製剤中ずつ、35ml使用	20単位		2本の原料血液を製造。原料血液は全て確保済み。		軽篤	未回復		
3-0900056	A-0900056	2009/9/8	2009/9/8	人血血小板濃厚液(放射線照射)	男	4	血液腫瘍	細菌感染	09/07	09/09		血小板製剤輸血(1時間後、翌朝、輸血的BT38.9℃翌日、赤血球製剤輸血(1時間後)BT39.0℃院内にて実施の患者血液よりPseudomonas aeruginosaとStaphylococcus epidermidisを同定。	投与中止の高熱製剤2本で細菌培養試験を実施。陰性。非溶血性副作用関連検査実施。抗血液タンパク質抗体検査:陰性。血液タンパク質交換検査:欠損なし。				被検票: 採血4日目の濃厚血小板(1本) 採血11日目の赤血球濃厚液-LR(1本)	10単位 2単位		1本の原料血液、1本の新鮮凍結血小板-LRを製造。原料血液は全て確保済み。		重篤	回復			

日赤番号	種別番号	FAX受付日	報告受付日	一般名	患者性別	年齢	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	日赤投与前検査	日赤投与後検査	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	献血者再献血※	同一献血者製剤確保※	同一献血者製剤使用※	感染症等転帰	転帰	献血者発症及の献血者の検査値	献血者発症及の献血者の検査値
3-0900067	A-0900067	2009/9/1	2009/9/2	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	女	70	臓器その他疾患	細菌感染	09/09			赤血球製剤2単位投与開始時BT37.1℃、P78、SP94/99約2時間後悪心、嘔吐約3.5時間後BT38.7℃さらに赤血球製剤2単位投与約4時間後BT39.2℃翌日、下痢・倦怠感増しBT39.2℃下痢、尿量減少、意識レベル低下、呼吸停止、心停止。DICにて患者死亡。院内にて実施の患者血液よりグラム陰性桿菌Acinetobacter baumannii/hemolyticusを同定。	当該製剤のセグメントチューブ(2本)にて細菌培養試験を実施。陰性。非溶血性副作用関連検査実施。抗血液タンパク質抗体検査:陰性。血液タンパク質交換検査:欠損なし。				被検票: 採血10日目の濃厚赤血球濃厚液-LR(2本)	4単位		2本の原料血液を製造。原料血液は全て確保済み。		重篤	死亡 患者は09年9月9日、DICにて死亡。剖検なし。死亡と本剤の関連性はない(当国医の長解)。		
3-0900068	A-0900068	2009/9/1	2009/9/2	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	男	70	消化器疾患	細菌感染	09/09			輸血後、悪寒と発熱あり。院内にて実施の患者血液よりStaphylococcus aureusを同定した。	当該製剤のセグメントチューブ(2本)にて細菌培養試験を実施。陰性。				被検票: 採血10日、11日目の濃厚赤血球濃厚液-LR(2本) 調査結果を受けて担当医より細菌培養と輸血血液との因果関係はないと考える以上のコメントが得られた。	4単位		2本の原料血液を製造。原料血液は全て確保済み。		重篤	軽快		
3-0900070	A-0900070	2009/9/2	2009/10/2	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	女	70	腎・泌尿器系疾患	真菌性血液培養陽性	09/03			IgM-B19-Ab(+) (09/05)	B19-DNA(-) IgM-B19Ab(-) IgG-B19Ab(+) 保管検体1本: B19-DNA(-)				1本の原料血液、1本の新鮮凍結血小板-LRを製造。原料血液は全て確保済み。新鮮凍結血小板-LRは確保済み。	4単位		原料血液使用の有無を調査中。		重篤	未回復	患者検体とB19 DNA陽性保管検体の陽性率の相関性について、輸血後患者がB19 DNA陽性のため調査できず。	

日赤番号	識別番号	FAX受付日	報告受領日	一般名	患者性別	患者年齢	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	日赤投与前検査	日赤投与後検査	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位	供血者再献血※	同一供血者製剤確保※	同一供血者製剤使用※	感染症等転帰	転帰	供血者発症及 の場合の 供血者検査 (抗体、抗原、 NAT)	供血者発症 及の場合の 供血者の検査 結果			
3-0900071	A-09000071	2009/9/2	2009/10/2	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	女	80	消化器腫瘍	細菌感染	09/09	BT36.5℃ BP106/56 P72	輸血30分後 BT37.5℃ BP106/28 P184、悪寒あり、全身倦怠感出現、輸血中止 2時間後 BT40℃ BP152/26 P80 院内にて実施の患者血液培養より Enterobacter cloacaeを同定	投与中止の当該製剤1本で細菌培養試験を実施、陰性。 非溶血性副作用関連検査実施。 抗血漿タンパク質抗体検査：陰性						被覆薬：採血11日目の照射赤血球濃厚液-LR(1本)	2単位		(本の新鮮凍結血漿-LRを製造、新鮮凍結血漿-LRは確保済み。			軽快	回復			
3-0900072	A-09000072	2009/10/6	2009/10/20	人赤血小板濃厚液(放射線照射)	男	70	血液疾患	細菌感染	09/10		輸血約80分後に悪寒・腹痛、嘔吐、末梢冷感あり、SpO2 80~70%台、BP70台 投与中止。 約2時間後BT36.8℃ +39.7℃ 院内にて実施の患者血液培養より Streptococcus agalactiaeを抽出。 院内にて実施の当該製剤血液培養より Streptococcus agalactiaeを抽出。	投与中止の当該製剤1本で細菌培養試験を実施、陰性。 非溶血性副作用関連検査実施。 Streptococcus agalactiae(β群レンサ球菌)同定。						被覆薬：採血3日目の照射濃厚血小板(1本)	10単位		1本の原料血漿を製造、原料血漿は確保済み。			重篤	未回復		医療機関において抽出された患者の菌株を入手し、3つの菌株(医療機関において当該製剤から抽出された菌株、患者から抽出された菌株および日本赤十字社で当該製剤から抽出した菌株)について遺伝子解析等を行い、相同性について確認予定。	
3-0900073	A-09000073	2009/10/7	2009/10/20	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	男	80	その他疾患?	細菌感染	09/10		輸血1時間半後 BT38.0℃ 2時間半後 BT39.0℃ 院内にて患者血液培養実施。 陰性	投与中止の当該製剤1本で細菌培養試験を実施、陰性。 非溶血性副作用関連検査実施。 抗血漿タンパク質抗体検査：陰性 血漿タンパク質抗体検査：陰性						被覆薬：採血13日目の照射赤血球濃厚液-LR(1本) 調査結果を受けて担当医より副作用・感染症と輸血用血液との因果関係なしと考えるとのコメントが得られた。	2単位		1本の原料血漿を製造、原料血漿は確保済み。			非重篤	軽快			

31

日赤番号	識別番号	FAX受付日	報告受領日	一般名	患者性別	患者年齢	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	日赤投与前検査	日赤投与後検査	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位	供血者再献血※	同一供血者製剤確保※	同一供血者製剤使用※	感染症等転帰	転帰	供血者発症及 の場合の 供血者検査 (抗体、抗原、 NAT)	供血者発症 及の場合の 供血者の検査 結果		
3-0900078	A-09000078	2009/10/21	2009/11/4	人赤血球濃厚液-LR	女	70	腎・泌尿器疾患	細菌感染	09/10		輸血後25分で副作用発現。悪寒、ふるえ、倦怠感、嘔吐(SpO2 80%) さらに約2時間後 (BT36.4℃→39.3℃) 血圧低下(113/45→94/60) 院内にて実施の患者血液培養より Escherichia coliを抽出した。	投与中止の当該製剤1本で細菌培養試験を実施、陰性。 非溶血性副作用関連検査実施。 抗血漿タンパク質抗体検査：陰性 血漿タンパク質抗体検査：欠損なし						被覆薬：採血12日目の赤血球濃厚液-LR(1本)	2単位		1本の新鮮凍結血漿-LRを製造、確保済み。			重篤	軽快		
3-0900089		2009/11/17		人赤血小板濃厚液	男	40	血液腫瘍	細菌感染	09/11	36.2℃ 脈78/min	39.4℃ 脈153/min 院内にて実施の患者血液培養よりグラム陰性桿菌を抽出。	投与中止の当該製剤1本で細菌培養試験を実施予定。 非溶血性副作用関連検査実施予定。						採血2日目の濃厚血小板	10単位		調査中	調査中	非重篤	調査中			

32

試行的 HEV20 プール NAT 実施状況について
(輸血後 HEV 感染の予防対策)

1. 試行的 HEV20 プール NAT 実施状況

北海道赤十字血液センター管内
調査期間:平成 17 年 1 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日

	献血者数	HEV-RNA 陽性	陽性率
H17. 1～H18. 2*1	341, 174	45	1/7, 582
H18. 3～H21. 9*2	961, 033	115	1/8, 357
合計	1, 302, 207	160	1/8, 139

*1 北海道センターにて NAT 実施(ALT 高値、検査不合格検体も含む)
*2 血漿分画センターにて NAT 実施(ALT 高値、検査不合格検体は除く)

2. HEV-RNA 陽性献血者の内訳
別添

2. HEV-RNA 陽性者の内訳

No.	採血日	年齢	性別	ALT (IU/L)	HEV 抗体		HEV RNA	同診 該当 ※1	献血者調査 内の種類	献血者調査 食べ方	濃厚感染 提供施設	献血者情報
					IgM	IgG						
1	2005/01/04	32	M	57	-	-	+	無	不明レバー	生	無	
2	2005/02/07	38	F	11	-	-	+	無	プケルレバー	生	無	
3	2005/02/13	41	M	103	-	-	+	無	回答なし		無	
4	2005/03/25	65	F	17	-	-	+	有	回答なし		有	
5	2005/03/27	28	M	38	-	-	+	有	不明レバー(四肢肉)	生	無	赤血球凝集試験のため院内感染
6	2005/04/10	54	F	20	-	-	+	無	ウシ精肉	半生	無	
7	2005/04/15	59	F	16	-	-	+	無	プケルレバー、シガ精肉	十分加熱	無	
8	2005/04/15	35	F	16	-	-	+	無	シガ精肉、ウシ精肉	半生	無	
9	2005/04/20	25	M	24	+	+	+	無	ウシレバー、ヒツジ精肉	十分加熱	有	感染なし
10	2005/04/28	22	M	44	-	-	+	無	ウシホルモン、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
11	2005/06/07	42	M	24	+	+	+	無	ウシ精肉	半生	有	原感染により死亡
12	2005/06/22	51	M	62	-	-	+	無	ウシホルモン、プケルレバー、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
13	2005/07/03	58	M	219	+	+	+	無	不明レバー、プケルレバー	十分加熱	無	
14	2005/07/05	22	M	23	+	+	+	無	回答なし		無	
15	2005/07/05	38	M	15	-	-	+	無	プケルレバー、ウシ精肉、プケルレバー	半生	無	
16	2005/07/13	24	M	19	-	-	+	無	ウシレバー	生	有	原感染により死亡
17	2005/09/02	33	M	49	-	-	+	無	ウシ精肉	生	無	
18	2005/09/01	29	F	100	+	+	+	無	ヒツジ精肉	十分加熱	無	
19	2005/09/20	42	M	31	-	-	+	無	ウシホルモン、プケルレバー、ウシ精肉	半生	無	
20	2005/09/27	20	F	10	-	-	+	無	プケルレバー、不明レバー、ヒツジ精肉	十分加熱	有	HEV 感染(H17.11.1 運営委員会報告済み)
21	2005/10/21	41	M	12	-	-	+	無	ウシ精肉、プケルレバー、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
22	2005/10/25	44	F	38	+	+	+	無	回答なし		無	
23	2005/11/07	30	F	21	-	-	+	無	ウシ精肉、プケルレバー	十分加熱	無	
24	2005/11/07	31	F	12	+	+	+	有	プケルレバー、ウシ精肉、ヒツジ精肉	半生	無	
25	2005/11/20	28	M	47	+	+	+	有	プケルレバー、ウシ精肉	十分加熱	無	
26	2005/11/29	35	F	333	+	+	+	有	プケルレバー、ウシ精肉、プケルレバー	十分加熱	無	
27	2005/12/13	42	M	30	-	-	+	有	ウシ精肉、ヒツジ精肉	半生	有	原感染により死亡
28	2005/12/22	62	F	14	-	-	+	有	不明レバー、プケルレバー	十分加熱	有	HEV 感染(H18.01.20 運営委員会報告済み)
29	2005/12/22	82	F	14	-	-	+	無	不明レバー	十分加熱	無	
30	2005/12/27	42	F	14	-	-	+	無	回答なし		無	

No.	採血日	年齢	性別	ALT (IU/L)	HEV抗体		HEV RNA	問診 該当 ※1	喫食歴調査		酒及対象 供給薬剤	受血者情報
					IgM	IgG			肉の種類	食べ方		
31	2006/01/02	22	F	12	-	-	+	有	ウシレバー、ウシ精肉	十分加熱	無	
32	2006/01/06	68	M	23	-	-	+	無	ウシレバー、ブタホルモン、ヒツジ精肉	半生	無	
33	2006/01/13	38	M	42	-	-	+	無	ウマ精肉、不明レバー ウシ精肉、ヒツジ精肉 ウシレバー、ブタ精肉、ブタホルモン	生 半生 十分加熱	無	
34	2006/01/18	53	M	238	+	+	+	有	ウシレバー、ウシホルモン	十分加熱	無	
35	2006/01/13	31	M	43	-	-	+	有	不明レバー ブタ精肉、ヒツジ精肉	半生 十分加熱	無	
36	2006/01/17	48	M	25	-	-	+	無	回答なし		無	
37	2006/01/25	52	M	25	-	-	+	無	不明レバー、ヒツジ精肉	十分加熱	有	輸血後89日現在、HEVマーカーの陽転は見られず追跡調査終了
38	2006/01/30	39	F	22	-	-	+	無	回答なし		無	
39	2006/01/30	25	M	32	-	-	+	有	ウシ精肉、ウシホルモン、ブタ精肉	十分加熱	無	
40	2006/02/02	39	F	35	-	+	+	有	ウシレバー ウシレバー ヒツジ精肉	生 半生 十分加熱	無	
41	2006/02/07	57	M	13	-	-	+	無	不明	不明	無	
42	2006/02/07	40	F	172	+	+	+	無	ウシ精肉	十分加熱	無	
43	2006/02/17	39	M	28	-	-	+	無	ブタホルモン、ブタレバー、ブタガツ、ヒツジ精肉 イノシシ精肉、ブタ精肉	半生 十分加熱	無	
44	2006/02/20	58	M	22	-	-	+	無	ヒツジ精肉	十分加熱	無	
45	2006/02/21	45	M	30	-	-	+	無	ウシ精肉 ブタ精肉、ブタレバー、ヒツジ精肉	半生 十分加熱	無	
46	2006/03/01	46	F	15	-	-	+	無	回答なし		無	
47	2006/03/01	50	F	29	-	-	+	無	回答なし		無	
48	2006/03/02	54	M	47	+	+	+	無	ウシ、ブタ(精肉、レバー、ホルモン)、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
49	2006/03/27	40	F	12	-	-	+	無	回答なし		無	
50	2006/04/01	31	F	16	-	-	+	無	ヒツジ精肉	半生	無	
51	2006/04/04	30	F	14	-	-	+	無	ブタ精肉、不明レバー	十分加熱	無	
52	2006/04/12	38	M	45	+	+	+	無	ブタレバー、ウシ精肉、ブタ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
53	2006/04/18	21	M	28	-	-	+	無	ウシ精肉、ウシホルモン ウシ精肉、ウシホルモン	半生 十分加熱	無	
54	2006/04/22	28	M	14	+	+	+	無	回答なし		無	
55	2006/04/26	46	M	19	-	-	+	無	ブタレバー	半生	無	
56	2006/05/18	62	M	27	-	-	+	無	ヒツジレバー	十分加熱	無	
57	2006/07/07	17	M	33	-	-	+	無	回答なし		無	
58	2006/07/11	34	F	10	-	-	+	無	回答なし		無	
59	2006/07/12	21	F	27	-	-	+	無	回答なし		無	
60	2006/07/22	49	M	46	+	-	+	無	ウシ精肉、ブタ精肉、ブタホルモン、ブタレバー	十分加熱	無	

No.	採血日	年齢	性別	ALT (IU/L)	HEV抗体		HEV RNA	問診 該当 ※1	喫食歴調査		酒及対象 供給薬剤	受血者情報
					IgM	IgG			肉の種類	食べ方		
61	2006/08/01	62	M	18	-	-	+	無	ブタホルモン、ウシ精肉、ブタ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
62	2006/09/06	44	F	14	-	-	+	無	喫食歴なし		無	
63	2006/09/29	68	M	15	-	-	+	無	ブタ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
64	2006/10/21	29	M	22	-	-	+	無	不明		無	
65	2006/11/19	48	M	58	-	-	+	無	ウシ精肉、ブタ精肉	十分加熱	無	
66	2006/11/23	54	M	18	-	-	+	無	回答なし		無	
67	2006/12/01	43	M	55	-	+	+	無	ブタ精肉	十分加熱	無	
68	2006/12/04	60	M	46	+	+	+	無	ウシ精肉	十分加熱	無	
69	2006/12/04	47	M	40	+	+	+	無	ウシ精肉、ウシホルモン	十分加熱	無	
70	2007/03/01	33	M	41	-	-	+	無	ウシレバー	生	無	
71	2007/03/15	42	M	32	-	+	+	無	ブタレバー、ブタホルモン	半生	無	
72	2007/03/27	55	M	30	-	-	+	無	不明レバー	十分加熱	無	
73	2007/04/07	22	F	9	-	-	+	無	ユッケ ウシホルモン、ヒツジホルモン	生 十分加熱	無	
74	2007/05/18	47	F	15	-	-	+	無	ヒツジ精肉、ブタホルモン	十分加熱	無	
75	2007/05/18	40	F	27	+	+	+	無	ブタ生ハム(自家製)	半生	無	
76	2007/05/30	33	M	26	-	+	+	無	ヒツジ精肉、ブタホルモン	十分加熱	無	
77	2007/06/22	38	M	20	-	-	+	無	ウシ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
78	2007/06/25	45	M	37	+	+	+	無	ブタ精肉 ヒツジ精肉	十分加熱 半生	無	
79	2007/06/27	37	M	18	-	-	+	無	ブタ精肉	十分加熱	無	
80	2007/07/24	57	M	24	-	-	+	無	喫食歴なし		無	
81	2007/07/29	37	M	48	-	-	+	無	不明レバー、ブタホルモン 不明レバー、ブタホルモン	十分加熱 半生	無	
82	2007/07/31	48	M	30	-	-	+	無	ブタ精肉、ブタホルモン、ブタレバー	十分加熱	無	
83	2007/08/04	48	M	33	-	-	+	無	ブタ精肉 ウシ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱 半生	無	
84	2007/08/04	53	M	28	-	-	+	無	ヒツジ精肉 ヒツジ精肉	十分加熱 半生	無	
85	2007/08/26	50	M	60	-	-	+	無	ヒツジ精肉 ウシ精肉	十分加熱 生	無	
86	2007/09/05	41	M	29	-	-	+	無	喫食歴なし		無	
87	2007/09/18	41	M	23	-	-	+	無	ウシ精肉、ブタ精肉、ウシホルモン、ブタホルモン	半生	無	
88	2007/09/21	57	M	19	-	-	+	無	ブタホルモン	十分加熱	無	
89	2007/10/03	59	M	39	-	-	+	無	ブタレバー、ブタ精肉	十分加熱	無	
90	2007/10/03	19	M	40	-	-	+	無	喫食歴なし		無	

No.	採血日	年齢	性別	ALT (U/L)	HEV抗体		HEV RNA	問診該当※1	喫食歴調査		酒及対象供給薬剤	受血者情報
					IgM	IgG			肉の種類	食べ方		
91	2007/10/09	35	M	19	-	-	+	不明	ブタ精肉	十分加熱	無	
92	2007/10/18	30	M	31	-	-	+	不明	ウシ精肉、ブタ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
93	2007/11/16	24	M	5	-	-	+	不明	不明		無	
94	2007/11/18	54	M	22	-	+	+	不明	ブタホルモン、ブタレバー	十分加熱	無	
95	2007/11/18	45	M	47	-	-	+	不明	ブタ精肉 ブタレバー	十分加熱 半生	無	
96	2007/11/19	58	M	13	-	-	+	不明	レバー、ホルモン	不明	無	
97	2007/11/19	24	M	48	-	-	+	不明	不明		無	
98	2007/11/24	36	M	25	-	-	+	不明	不明		無	
99	2007/11/29	42	M	21	-	+	+	不明	不明		無	
100	2007/11/30	31	M	42	+	+	+	不明	レバー	不明	無	
101	2008/01/08	35	M	36	-	-	+	不明	ウシ精肉、ブタ精肉	十分加熱	無	
102	2008/01/17	48	F	13	+	+	+	不明	ブタホルモン、シカ精肉 ウシ精肉	十分加熱 半生	無	
103	2008/01/29	57	M	22	-	-	+	不明	ブタレバー、ブタホルモン	十分加熱	無	
104	2008/02/04	31	M	47	+	+	+	不明	不明		無	
105	2008/02/06	57	M	20	-	-	+	不明	ブタホルモン	十分加熱	無	
106	2008/02/13	42	M	35	-	-	+	不明	不明レバー	十分加熱	無	
107	2008/02/13	80	M	37	+	+	+	不明	不明		無	
108	2008/03/11	30	M	21	-	-	+	不明	不明		無	
109	2008/03/25	34	F	28	-	-	+	不明	喫食歴なし		無	
110	2008/03/26	32	M	41	+	+	+	不明	ブタ精肉、ウシ精肉	十分加熱	無	
111	2008/03/29	54	M	28	-	-	+	不明	ブタ精肉	十分加熱	無	
112	2008/03/30	19	F	9	-	-	+	不明	不明レバー	十分加熱	無	
113	2008/04/16	48	M	13	-	-	+	不明	不明		無	
114	2008/05/12	33	M	12	-	-	+	不明	ブタ精肉、ブタホルモン	半生	無	
115	2008/05/28	39	F	29	-	-	+	不明	不明		無	
116	2008/05/28	47	M	48	-	-	+	不明	ブタホルモン	十分加熱	無	
117	2008/06/04	43	M	38	+	+	+	不明	ウシレバー ウシホルモン、ウシ、ブタ、ヒツジ精肉	生 十分加熱	無	
118	2008/06/07	42	M	11	-	-	+	不明	ウシレバー ブタ精肉	生 十分加熱	無	
119	2008/06/23	46	M	17	-	-	+	不明	ウシ、ブタ、ヒツジ精肉	半生	無	
120	2008/07/10	39	M	32	-	-	+	不明	ウシ、ブタ、ヒツジ精肉 ウシ、ブタ、ヒツジ精肉	半生 十分加熱	無	

37

No.	採血日	年齢	性別	ALT (U/L)	HEV抗体		HEV RNA	問診該当※1	喫食歴調査		酒及対象供給薬剤	受血者情報
					IgM	IgG			肉の種類	食べ方		
121	2008/07/11	39	M	28	-	-	+	不明	不明		無	
122	2008/07/26	34	M	35	-	-	+	不明	ウシ精肉、ブタ精肉	十分加熱	無	
123	2008/07/27	36	M	45	-	-	+	不明	不明		無	
124	2008/07/30	24	M	10	-	-	+	不明	不明		無	
125	2008/08/20	19	M	17	+	-	+	不明	不明		無	
126	2008/09/03	30	M	28	-	-	+	不明	不明		無	
127	2008/09/06	35	M	16	-	-	+	不明	不明		無	
128	2008/09/09	23	F	24	-	-	+	不明	ブタ、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
129	2008/09/16	33	F	18	+	+	+	不明	不明		無	
130	2008/09/16	56	M	21	-	-	+	不明	不明		無	
131	2008/09/17	62	M	37	-	-	+	不明	ウシレバー、ブタレバー	十分加熱	無	
132	2008/09/23	42	M	36	-	-	+	不明	ブタ精肉、ブタレバー	十分加熱	無	
133	2008/09/25	35	M	18	-	-	+	不明	不明		無	
134	2008/09/27	30	M	22	-	-	+	不明	不明		無	
135	2008/10/10	50	M	31	-	-	+	不明	ウシ、ブタ、ヒツジ精肉	不明	無	
136	2008/10/11	39	F	15	-	-	+	不明	ウマ精肉	生	無	
137	2008/10/14	56	M	13	-	-	+	不明	不明レバー	生	無	
138	2008/10/16	38	F	23	-	-	+	不明	不明		無	
139	2008/11/03	37	M	22	-	-	+	不明	ウシホルモン、ブタ精肉	半生	無	
140	2008/11/11	41	F	11	-	-	+	不明	不明		無	
141	2008/12/05	52	M	18	-	-	+	不明	ブタレバー	十分加熱	無	
142	2008/12/20	47	M	22	-	-	+	不明	ウシ、ブタ、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
143	2009/01/13	50	M	27	-	-	+	不明	ウシ、ブタ(精肉、レバー、ホルモン)	十分加熱	無	
144	2009/01/27	55	M	17	-	-	+	不明	不明		無	
145	2009/02/11	37	M	28	-	-	+	不明	不明ホルモン	十分加熱	無	
146	2009/02/16	59	F	23	-	-	+	不明	ブタレバー	不明	無	
147	2009/02/23	20	F	42	-	+	+	不明	ウシ、ブタ精肉	半生	無	
148	2009/03/11	29	M	49	-	-	+	不明	ブタレバー、ホルモン	十分加熱	無	
149	2009/04/16	35	F	29	-	-	+	不明	ウシレバー ウシ、ブタホルモン	生 半生	無	
150	2009/04/24	36	F	42	-	-	+	不明	不明ホルモン	不明	無	

38

日本赤十字社血液事業本部 御中

薬事・食品衛生審議会血液事業部会事務局
厚生労働省医薬食品局血液対策課

血液製剤に関する報告事項について

血液事業の推進に御努力いただき、厚く御礼申し上げます。
さて、標記につきましては、平成21年7月3日付け血安第271号にて貴社から報告を頂いたところですが、平成21年12月10日(木)に平成21年度第3回血液事業部会運営委員会が開催されますので、下記の事項について資料を作成いただき、平成21年11月20日(金)までに当事務局あて御提出いただきますようお願いいたします。記の11については、平成21年7月28日開催平成21年度第2回血液事業部会運営委員会提出資料を更新のうえ、再度御提出ください。
なお、資料の作成に当たっては、供血者、患者及び医療機関の名称並びにこれらの所在地又はこれらの事項が特定できる情報を記載しないよう、個人情報及び法人情報の保護に特段の御配慮をお願いします。

記

1. 平成15年9月5日付けで報告された輸血用血液製剤でHIVの感染が疑われる事例について、残る2人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
2. 平成16年3月22日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV(B型肝炎ウイルス)感染が疑われる事例について、残る5人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
3. 平成16年11月26日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV(B型肝炎ウイルス)感染が疑われる事例について、残る7人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
4. 平成17年1月12日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV(B型肝炎ウイルス)感染が疑われる事例について、残る4人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。

No.	採血日	年齢	性別	ALT (U/L)	HEV抗体		HEV RNA	HIV陽性 ※1	肉の種類	検査結果		追加検査 採血製剤	受血者情報
					IgM	IgG				異べ方	不明		
151	2009/04/27	45	M	50	-	-	+	/	不明	不明	不明	無	
152	2009/06/04	65	F	24	-	-	+	/	不明ホルモン	不明	不明	無	
153	2009/06/09	63	M	26	-	-	+	/	ブタ肉 シカ精肉	十分加除 生	十分加除 生	無	
154	2009/07/01	47	M	40	+	-	+	/	ウシ精肉、ブタホルモン	十分加除 生	十分加除 生	無	
155	2009/07/23	28	F	11	-	-	+	/	ブタホルモン ウシ精肉	十分加除 生	十分加除 生	無	
156	2009/08/01	40	M	26	-	-	+	/	ウシ精肉、ブタホルモン	十分加除 生	十分加除 生	無	
157	2009/08/14	41	M	14	-	-	+	/	不明	不明	不明	無	
158	2009/09/04	43	M	45	-	-	+	/	ウシ精肉	十分加除 生	十分加除 生	無	
159	2009/09/09	54	F	14	-	-	+	/	ウシバー	半生	半生	無	
160	2009/09/09	51	M	19	-	-	+	/	ブタ精肉	十分加除	十分加除	無	

※1: 問診票記載調査内容
05年1月1日~05年10月31日: 過去3ヶ月以内にブタ、シカ、イノシシあるいは動物種不明の生肉、生レバーの喫食歴
05年11月1日~06年03月31日: 過去3ヶ月以内に生肉(牛生も含む)、レバー、ホルモン(動物種、産方法を問わず)の喫食歴、なお本調査は04年03月31日をもって終了

査結果。来訪がなければ、その旨。

血安第452号
平成21年11月20日

5. 平成17年2月4日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る1人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
6. 平成17年6月23日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る4人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
7. 平成18年4月7日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る9人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
8. 平成18年6月5日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る1人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
9. 平成19年2月20日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る1人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
10. 平成18年2月15日報告、3月8日付けで追加報告された輸血用血液製剤でHCV（C型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る3人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
11. 試行的HEV20プルNATについて、その後の調査実施状況。

厚生労働省医薬食品局血液対策課長 様

日本赤十字社
血液事業本部長

血液製剤に関する報告事項について（回答）

平成21年11月13日付事務連絡によりご依頼のありました標記の件については、下記のとおり資料を作成しましたので報告いたします。

記

1. 平成15年9月5日付けで報告された輸血用血液製剤でHIVの感染が疑われる事例について、残る2人のその後の来訪なし。（8名中6名が来所、検査は全て陰性）
2. 平成16年3月22日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る5人のその後の来訪なし。（37名中32名が来所、検査は全て陰性）
3. 平成16年11月26日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る7人のその後の来訪なし。（48名中41名が来所、検査は全て陰性）
4. 平成17年1月12日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る4人のその後の来訪なし。（16名中12名が来所、検査は全て陰性）
5. 平成17年2月4日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る1人のその後の来訪なし。（追跡調査対象の4名中3名が来所、HBV-DNAは全て陰性。1名はHBc抗体がEIA法のみ陽性HI法陰性、その他の者は全て陰性）

6. 平成17年6月23日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る4人のその後の来訪なし。（20名中16名が来所、検査は全て陰性）
7. 平成18年4月7日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る9人のその後の来訪なし。（53名中44名が来所、HBV-DNAは全て陰性。2名はHBc抗体及びHBs抗体陽性、1名はHBs抗体のみ陽性、その他の者は全て陰性）
8. 平成18年6月5日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る1人のその後の来訪なし。（29名中28名が来所、HBV-DNAは全て陰性。2名はHBc抗体及びHBs抗体陽性、1名はHBs抗体のみ陽性、その他の者は全て陰性）
9. 平成19年2月20日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る1人のその後の来訪なし。（3名中2名が来所、検査は全て陰性）
10. 平成18年2月15日報告、3月8日付けで追加報告された輸血用血液製剤でHCV（C型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る3人のその後の来訪なし。（81名中78名が来所、検査は全て陰性）
11. 試行的HEV20プールNATについて、その後の調査実施状況については別紙のとおり。

